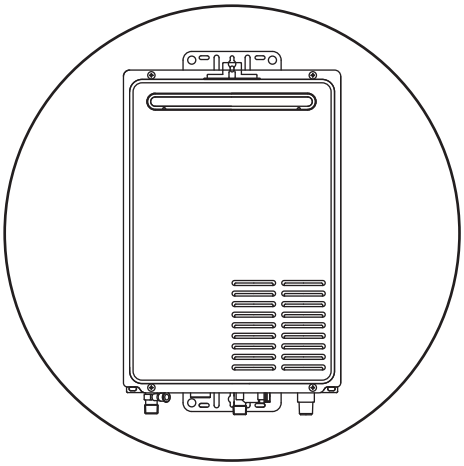
ガス瞬間給湯器

Paloma

□ **PH-103EW**
□ **PH-163EW**
□ **PH-203EW**
□ **PH-203EW(D)**

＜BL認定部品＞
□ **PH-163EWL**
□ **PH-203EWL**

【対応リモコン】
■給湯リモコン：MC-130
■ふろリモコン：FC-130



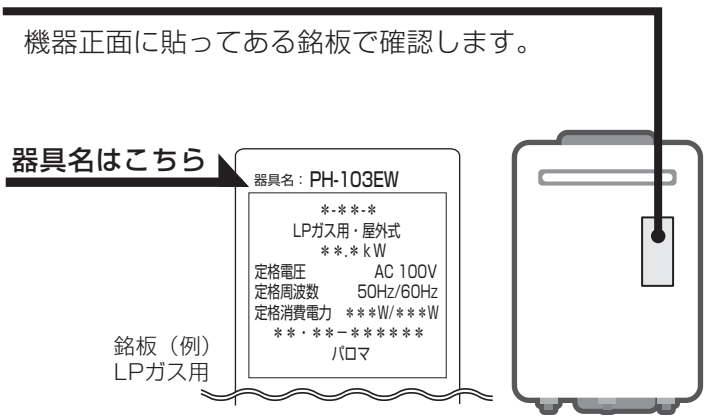
取扱説明書 保証書付

このたびはガス瞬間給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- ●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- ●「取扱説明書」を紛失された場合は、パロマまでお問い合せください。

機器の器具名を確認するには…

機器正面に貼ってある銘板で確認します。



もくじ

はじめに

各部のなまえ ---------- 1
各部のなまえ（別売リモコン） ----- 2
必ずお守りください ---------- 3
使用前の準備と確認 ---------- 9

使いかた

リモコンなしの場合

お湯の出しかた ---------- 10

リモコンをご使用の場合

お湯の出しかた ---------- 11
給湯温度を調節するには ---------- 12
優先スイッチの使いかた ---------- 13
操作確認音の消しかた、鳴らしかた --- 14
湯はりコールの使いかた ---------- 15

上手に使って長持ちさせるには

点検とお手入れ ---------- 17
故障かな？と思ったら ---------- 19
凍結を防ぐには ---------- 22

仕様/アフターサービス

仕　様 ---------- 25
保管とアフターサービス ---------- 29
保証書 ---------- 裏表紙

各部のなまえ

排気口

燃焼排ガスが出ます。

本体表示

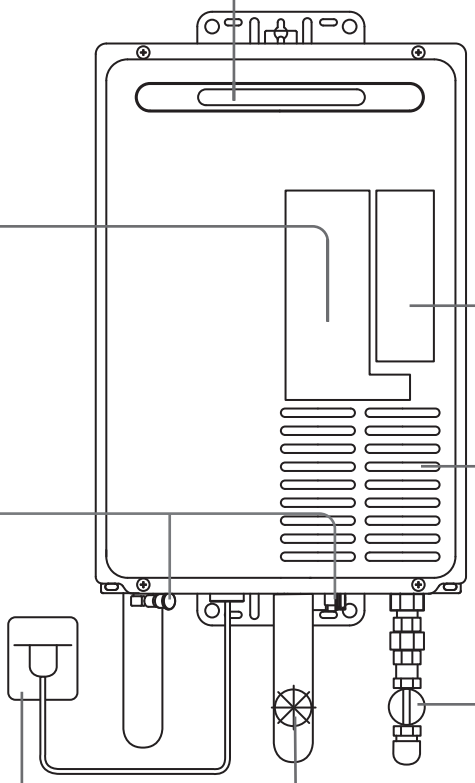
使用上の注意について表示しています。

水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときにはずします。
（23ページ参照）

電源プラグ

電気の供給を行います。



器具名

銘　板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・設計上の標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

給気口

燃焼用の空気を吸い込みます。

ガス栓

ガスの開閉を行います。

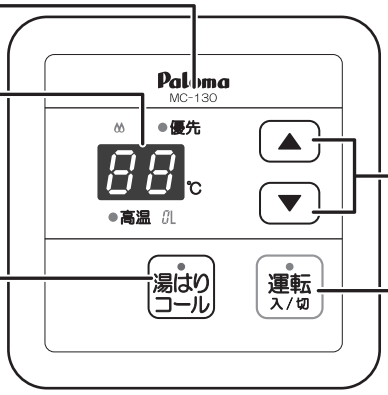
給水元栓

水道水の開閉を行います。

各部のなまえ（別売リモコン）

●リモコンの品名をお確かめください。リモコンによって仕様が一部異なります。
●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

給湯リモコン【MC-130】 … 台所等に取り付けるリモコンです。



リモコン品名表示

表示部（下部参照）

湯はりコールスイッチ

湯はりコールを設定するときに使用します。
スイッチを「入」にするとランプが点灯し、設定中は点滅します。

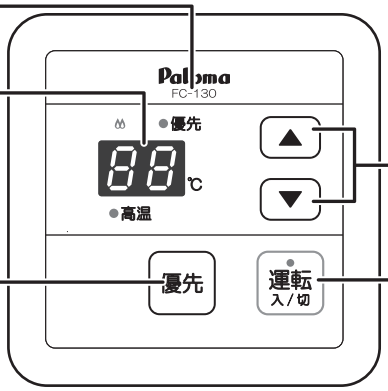
選択スイッチ

給湯温度の調節や湯はりコール設定湯量の調節をするときに使用します。

運転スイッチ

運転の「入」「切」を行います。
※運転スイッチの「入」「切」はすべてのリモコンで連動します。

ふろリモコン【FC-130】 … 浴室内に取り付けるリモコンです。



リモコン品名表示

表示部（下部参照）

優先スイッチ

リモコンの優先権を切り替えるときに使用します。
優先ランプが点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

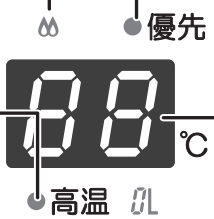
選択スイッチ

給湯温度の調節をするときに使用します。

運転スイッチ

運転の「入」「切」を行います。
※運転スイッチの「入」「切」はすべてのリモコンで連動します。

リモコン表示部



燃焼ランプ

機器が燃焼しているときに点灯します。

高温ランプ

給湯温度を60℃以上に設定しているときに点灯します。

湯はりコール湯量表示
（給湯リモコンのみ）

湯はりコール湯量表示中に点灯します。

優先ランプ

リモコンが優先権を持っているときに点灯します。優先ランプが点灯しているときは給湯温度を変更することができます。

- **給湯温度表示**
- **湯はりコール設定湯量表示**
（給湯リモコンのみ）

給湯温度や湯はりコール設定湯量を表示します。不具合が発生した場合にはエラーコードが表示されます。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示ではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

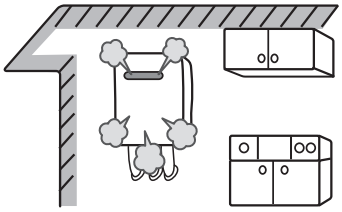


⚠危険

屋外式機器

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。

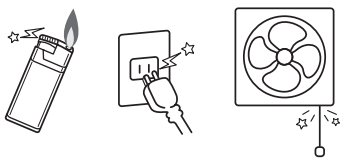




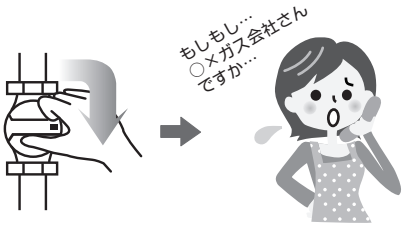
ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない

→災や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
②お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。









⚠警告

機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する



ガス接続（ガス事故防止）

この機器はネジ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはガス事業者にご依頼ください。



⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧･周波数)の適合を確認する

→表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

電源はＡＣ100Ｖを使用する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）まで連絡する。

必ず行う

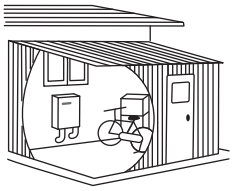
（例）

型式名	
都市ガス用・・・	
12A	13A
○○○	○○○
定格電圧	AC100V

型式名	
LPガス用・・・	
○○○	
定格電圧	AC100V

設置後、機器や排気口を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

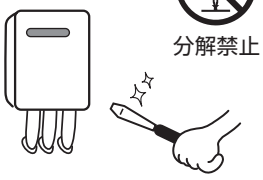


禁止

絶対に改造・分解は行わない

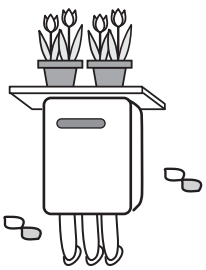
→改造・分解は一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

分解禁止



機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口などに乗らない

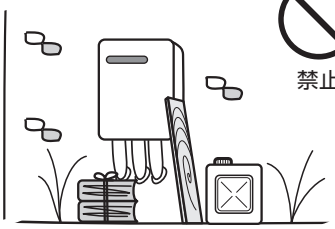
→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。



禁止

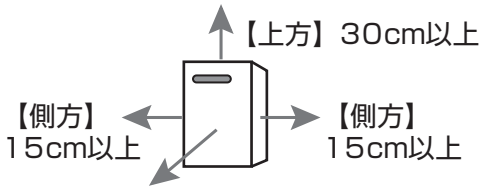
機器および排気口の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。



禁止

可燃物との離隔距離



必ず行う

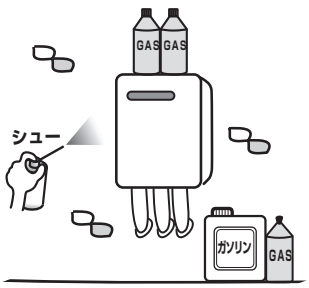
機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

禁止

機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。



禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。

禁止

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁止

必ずお守りください

⚠警告

シャワー(上がり湯)などお湯を使う場合は、最初に熱いお湯が出ることがあるため、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使用する



必ず行う

→やけどのおそれがあります。

やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない

禁止

→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。

給湯使用時は給湯栓(蛇口)が熱くなるのでやけどに注意する



禁止

湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

必ず行う

→急に湯量を少なくしたり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。
また、消火することもあります。

熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

必ず行う

→配管内の熱いお湯が出てしまうまでぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

この機器を太陽熱温水器（ソーラーシステム）に接続しない

禁止

→ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどするおそれがあります。

湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

高温注意

入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する。

必ず行う

→やけどのおそれがあります。

シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

禁止

→突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」(19～21ページ)に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かパロマまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

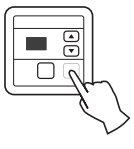
必ず行う

＊再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かパロマまで点検依頼してください。

給湯栓を全て閉める



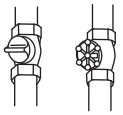
運転スイッチを切る



電源プラグを抜く



ガス栓・給水元栓を閉じる



⚠警告

・子供を浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない
・子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
・浴そうで水に潜ったりしない


禁止

→思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

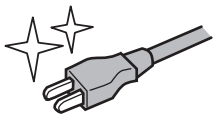
浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない


禁止

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

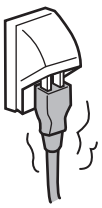
電源プラグのほこりなどは定期的にふきとる

→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。




必ず行う

電源プラグは根元まで完全に差し込む

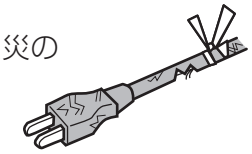



禁止

→差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や発火による火災の原因になります。




禁止

・電源コードを加工したり無理な力を加えない
・電源コードへの物のせ、束ね使用をしない
・電源コードを切断して延長しない

→電源コードがコンセントに届く範囲にしてください。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。


禁止

ぬれた手で電源プラグを触らない すでに雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。




濡れ手禁止

電源コードを引っぱって電源プラグを引き抜かない


禁止

→電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



アースがされていることを確認する

→この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合、機器の故障や漏電による感電のおそれがあります。ご不明な場合は買い上げの販売店にご確認ください。


アースする

⚠注意

給湯・シャワー以外の用途には使用しない


禁止

→思わぬ事故の原因になることがあります。

排気口に指や棒を入れない


禁止

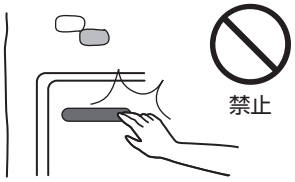
→故障やけがの原因となります。

必ずお守りください

⚠注意

使用中や使用直後は機器本体・排気口とその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。



禁止

温泉水や井戸水・地下水を使わない上水道を使用する

→水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用は保証期間内でもお客様の負担となります。

必ず行う

おねがい

リモコンの注意

→リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

→ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。
炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。故障の原因になります。



禁止

→リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。

分解禁止

リモコンの設置場所について

→サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）

家庭用製品

→この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

本体の上に金属製の物を置かない

→本体がさび、穴あきなどの原因になります。

禁止

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わない

当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

禁止

点火・消火の確認

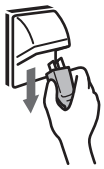
使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

＊リモコンがある場合、リモコンの燃焼ランプで確認してください。
（詳しくは11ページをご覧ください。）

必ず行う

電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますので緊急の場合以外は電源プラグを抜かないでください。



禁止

飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

おねがい

水をお使いのときは

機器本体やリモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用することは故障の原因になりますので避けてください。水をお使いのときは必ず給水栓側を開いてください。

停電・断水のときは

・停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。（通電・通水後は改めて操作してください。）

・冬期など気温の低いときに停電・断水した場合は「機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。（23ページ）

・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用水・調理水などに用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。

・断水復帰後は、給湯栓（蛇口）から十分な水を流してから使用してください。

＊断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態（リモコンがない場合は電源プラグを抜いた状態）で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のリモコン表示

●温度表示は前回使用時の設定が表示されます。
●湯量表示は下記のように表示されます。

- MC-130リモコンの場合
  →「180L」が表示されます。
- FC-130リモコンの場合
  →湯量表示はありません。

積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行う

積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

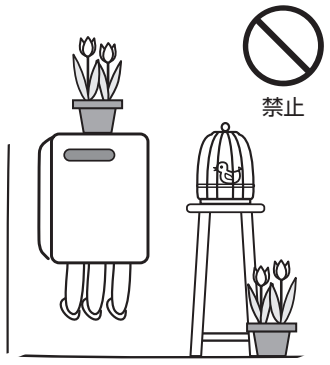
雷時の注意

雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカーで落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷が遠ざかってから、電源プラグが濡れていないことを確認して電源プラグを差し込んでください。



排気口の周囲

排気口からの燃焼排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を排気口の周囲に置かないでください。
増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。



増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間については、お買い上げの販売店またはパロマにお問い合わせください。）

使用前の準備と確認

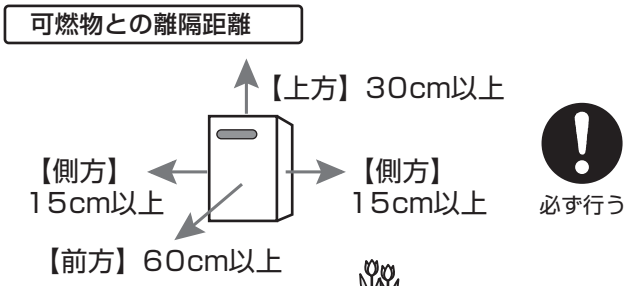
■設置状態の確認

下記の項目に当てはまる場所に設置されているか確認してください。

- ●水平な場所（確実に設置のできる場所）
- ●冷房装置や暖房装置の吹き出し口・吸い込み口がない場所
  →正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ●落下物の危険がない場所
- ●周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- ●給気口・排気口に強い風が吹き込まない場所
- ●足場などを組まなくてもメンテナンスできる場所（高所以外の場所）
- ●近所の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機音）で迷惑にならない場所
- ●階段・避難口から離れた場所
- ●排気口から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

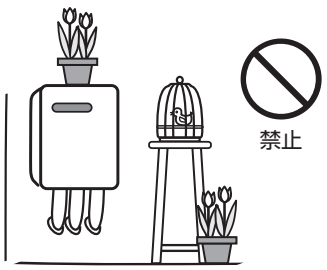
■周囲の防火処置の確認

火災予防のため、右図のように周囲の可燃物から防火上有効な距離を確保してください。



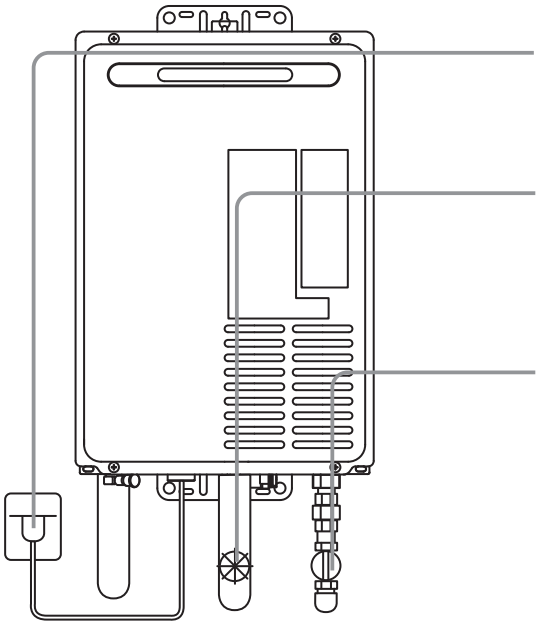
■排気口の周囲の確認

燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものが排気口の周囲にないか確認してください。また、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないか確認してください。



長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき安全にご使用ください。

初めてお使いになるときには



電源プラグをコンセントに差し込んでください



給水元栓を全開にしてください

つまみは左に止まるまで回し、必ず全開で使用してください。



ガス栓を全開にしてください

必ず全開で使用してください。



＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

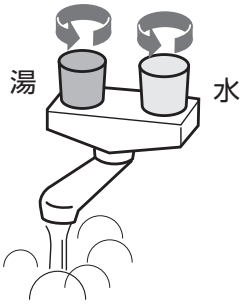
お湯の出しかた

給湯栓を開けると約60℃のお湯が出ますので、水と混ぜてお使いください。

＊お湯の温度は、通常60℃に設定されていますが、42℃、50℃または、70℃に変更することもできます。
ご希望があれば、お買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

①混合水栓を水側・お湯側の順で開ける

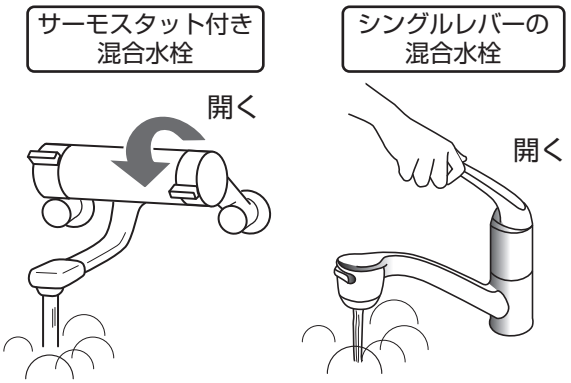
●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は低めの湯温に合わせてから給湯栓を開けてください。



②混合水栓でお好みの湯温に調節する

③混合水栓をお湯側・水側の順で閉める

●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻してください。



⚠警告

**開けるときは水側（たっぷり）・お湯側（少しずつ）、
閉めるときはお湯側・水側の順に行う**

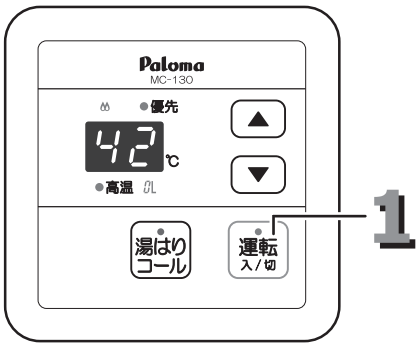
→お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

必ず行う

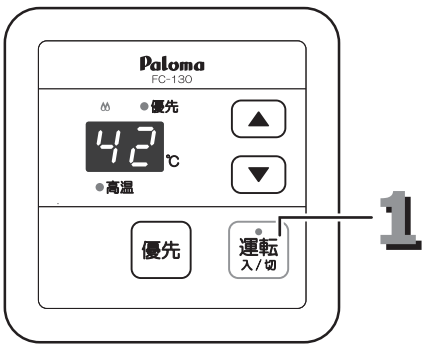
お湯の出しかた

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■給湯リモコン
MC-130



■ふろリモコン
FC-130



1 運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する





2 給湯栓を開ける





3 給湯栓を閉める





⚠警告

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの優先スイッチを押して優先にする

必ず行う

→優先にしないと給湯リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。

＊ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

＊優先スイッチの使いかたを参照してください。（13ページ）

おねがい

リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

知っておいてね

●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。（給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。）

●給湯栓を絞りすぎると消火します。
（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）

●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。

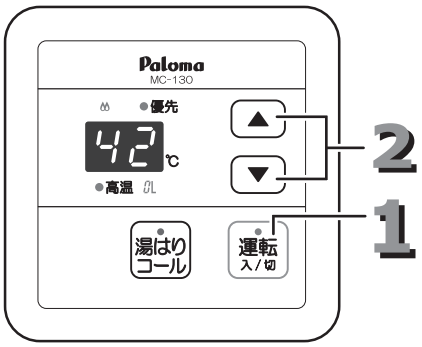
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。

●リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。

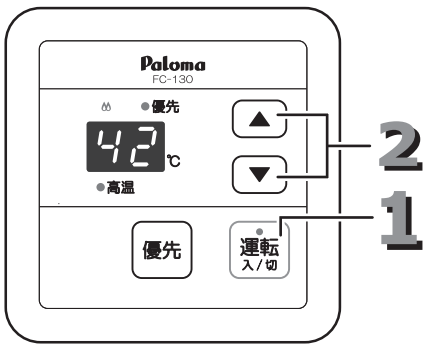
給湯温度を調節するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■給湯リモコン
MC-130



■ふろリモコン
FC-130



1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする

または、

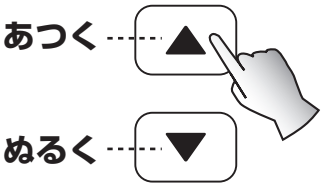
優先ランプの点灯を確認する



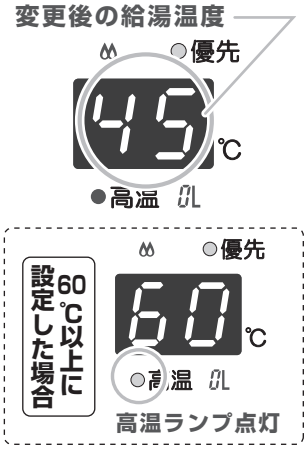
●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
●運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。（13ページ参照）



2 選択スイッチを押し、給湯温度を調節する



●38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
●60℃以上に設定した場合、注意を促すため熱いお湯が出ることを高温ランプと音でお知らせします。
（操作確認音を消音にしていてもお知らせします）
●設定を記憶します。



温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ややぬるめ			適温			ややあつめ				あつい		

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。
＊ご希望により70℃設定を追加することができます。お買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

⚠警告

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの優先スイッチを押して優先にする

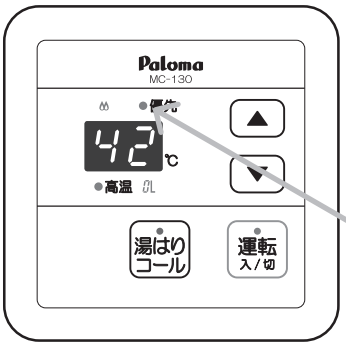
→優先にしないと給湯リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。
＊ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
＊優先スイッチの使いかたを参照してください。（13ページ）

必ず行う

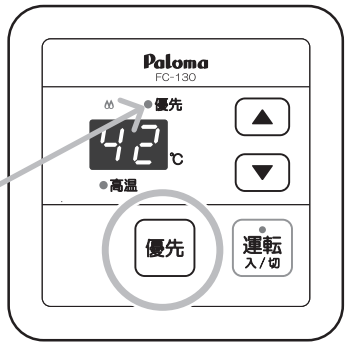
優先スイッチの使いかた

給湯配管先と浴室では同じ温度のお湯を供給します。
（給湯リモコンとふろリモコンは常に同じ給湯温度を表示します。）
そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどのおそれがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

■給湯リモコン
MC-130



■ふろリモコン
FC-130



優先ランプ

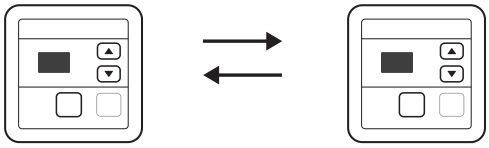
優先スイッチ

ふろリモコンの優先スイッチを押す



●ふろリモコンの優先スイッチを1回押すごとに「ふろリモコン」と「給湯リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。
（優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。）

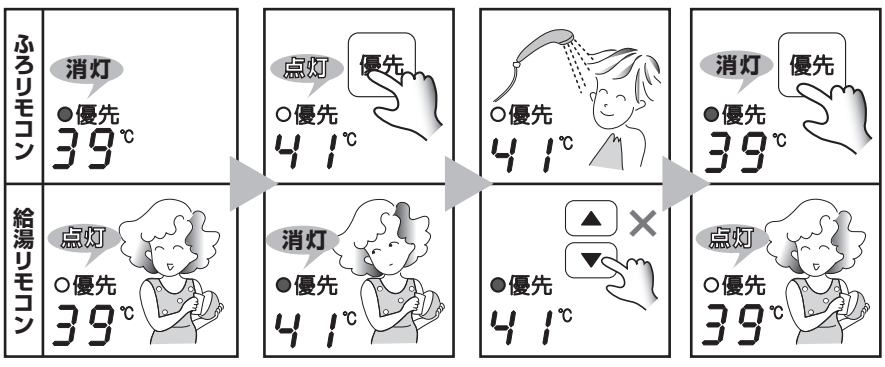
「給湯リモコン」　「ふろリモコン」



●リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。
●給湯リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度給湯リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして給湯リモコンの優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。

給湯リモコンとふろリモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。

●優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
●給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。



⚠警告

お湯を使用するときはやけどに注意する

●高温設定にした場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
●高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。
やけど防止のために出始めのお湯は体にかけないでください。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にふろリモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。
必ずふろリモコンの優先スイッチを押し、ふろリモコンを優先にしてください。
※ふろリモコンを優先中は給湯リモコンの運転スイッチを切ったり、入れたりしないでください。給湯リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
●給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。



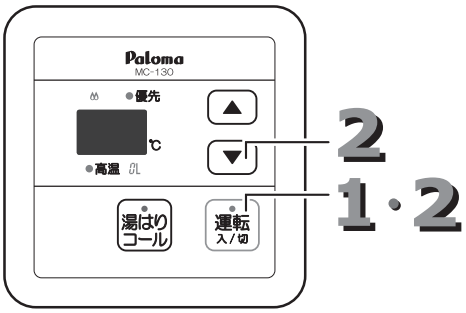
リモコンをご使用場合

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

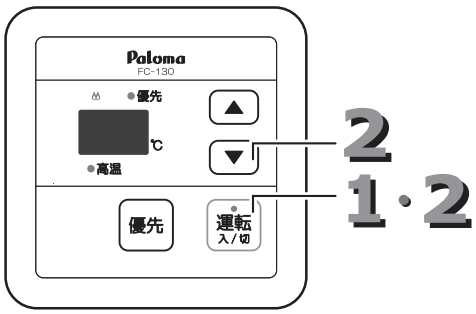
◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定します。

スイッチを押したときの‘ピッ’という音は、消したり、鳴らしたりすることができます。

■給湯リモコン　MC-130



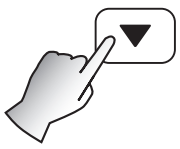
■ふろリモコン　FC-130



1　運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する



2



を押しながら、



を押す

●操作するたびに「消音」⇔「音が鳴る」と切り替わります。
●操作確認音を消音に設定すると、音が消え、音が鳴るように設定すると“ピピッ”と音が鳴ります。

知っておいてね

●設定はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定（音が鳴る）に戻ります。
●給湯温度を60℃以上の高温に調節したときのお知らせ音は消すことができません。

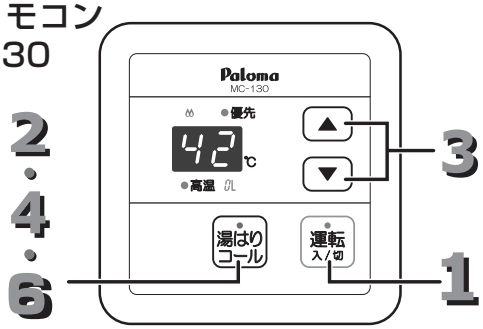
湯はりコールの使いかた

◆給湯リモコンで設定します。

湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。

※湯はりコールは、お知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

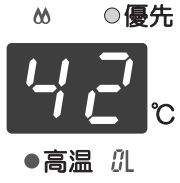
■給湯リモコン
MC-130



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

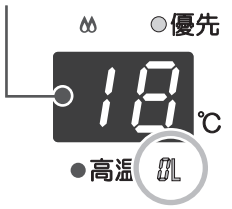




2 湯はりコールスイッチを押す

●湯はりコールランプが点灯し、初期設定の180L、または前回使用時に設定の湯量が表示されます。
●「OL」が点灯します。
●湯量の表示は10L単位です。



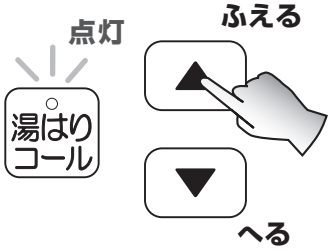


15秒以内

※湯量を変更する場合のみ行ってください。
変更しない場合はそのまま手順 4 へお進みください。

3 湯量を調節する

●10L～500Lまで10Lづつ調節できます。押し続けると連続的に変わります。
●初期設定の180Lは、1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。
●設定を記憶しますが、電源プラグを抜くと初期設定に戻ります。





4 湯はりコールスイッチを押す

【湯はりコールセット完了】

●湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻ります。
●湯はりコールスイッチを押さずにそのまま約15秒経過すると自動的に設定が完了します。

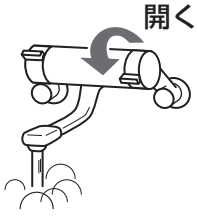




5 給湯栓を開ける

●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。（16ページ）







6 【湯はりコールでおしらせ】

設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ

●湯はりコールランプが点灯します。
●「OL」が点灯します。
●“ピピピッ”を止めるには湯はりコールスイッチを押してください。

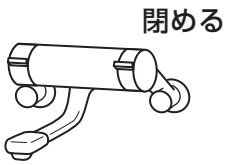




●ブザー終了後は湯はりコールランプが消灯し、温度表示に戻ります。



7 給湯栓を閉める





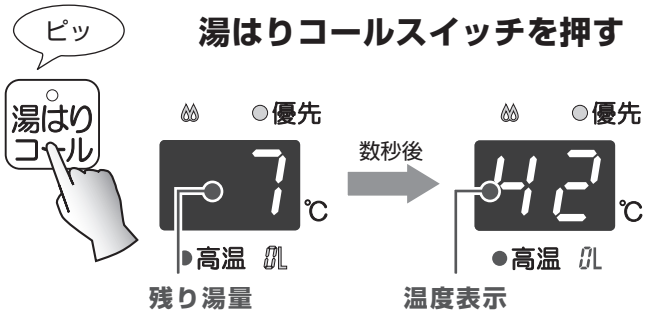
湯はりコールを途中で取り消すとき



湯はりコールスイッチを2回押す

湯量調節をする前に湯はりコールのセットが完了してしまった場合は、湯はりコールを取り消し、再度手順 **2** から操作をやり直してください。

残り湯量を知りたいとき

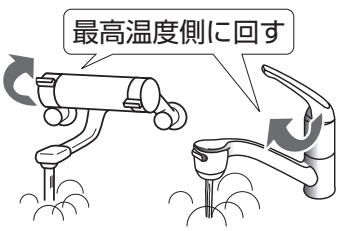


知っておいてね

●湯はりコールスイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
●湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
●設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。湯はりコールをセット後、お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。
●混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

【サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合】

●混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。
（水栓の種類によっては設定した温度と湯量にならない場合があります。）
●混合水栓側の温度設定を中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。



⚠警告

給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻す
→やけどのおそれがあります。

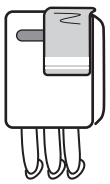


点検とお手入れ

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。なお、電源プラグを抜くと操作確認音の音量設定、湯はりコールの湯量が初期化されます。再度設定してください。
●お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

点検のポイント（ご使用のたびに）

1.給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか?



不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口をふさがないでください。排気口・給気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口・給気口がふさがれた場合、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口・給気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口・給気口をふさぐおそれのある場合はお買い上げの販売店に連絡し、設置場所を変更する必要があります。

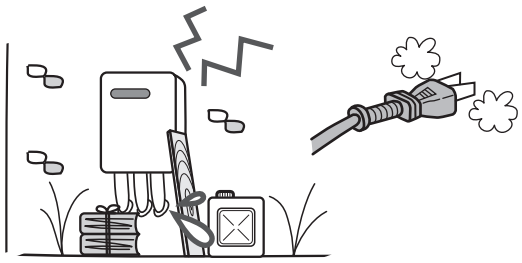
2.機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?

3.運転中に異常音は聞こえませんか？

4.機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか?

5.外観に変色等の異常はありませんか?

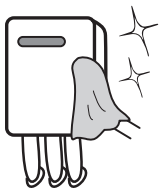
6.電源プラグにほこりがたまっていませんか？



お手入れのしかた（月に１回程度）

本体・リモコン

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤と水気を十分ふき取る



おねがい

●浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。
●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
●機器外装のお手入れの際、銘板をはがさないでください。
●ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。給湯リモコンは防水タイプではありません。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

お手入れのしかた（月に１回程度）

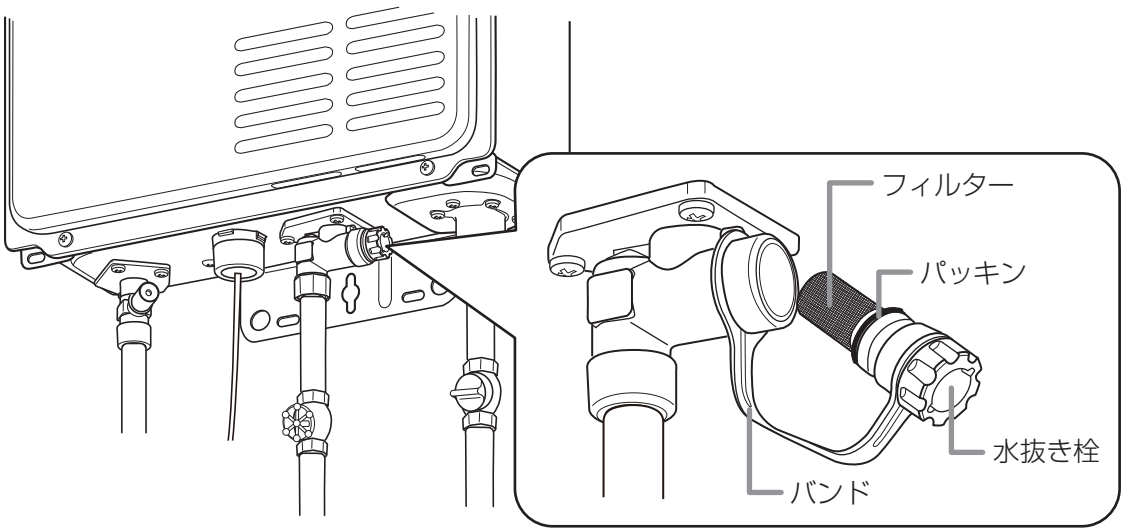
水抜き栓フィルター

水道管よりゴミなどが入らないように機器の給水水抜き栓にフィルターがついています。
このフィルターが詰まるとお湯の量が少なくなったり、お湯にならないことがあります。
月に１回程度お手入れしてください。

●お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●水抜き栓をはずすときに、水が飛び出ることがありますので、ゆっくりはずしてください。

1.給水元栓を閉める
2.すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける
3.水抜き栓をはずし、フィルター部分のゴミを取り除く
4.元どおりに水抜き栓を取り付ける
5.すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める
6.給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する

※お手入れ後、最初にご使用するときに空気を含んだ水（お湯）が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

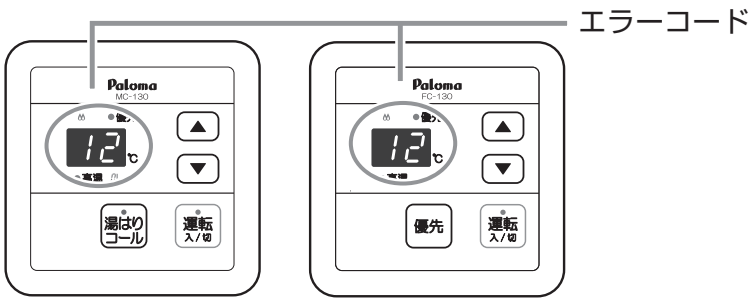


定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、年に1回程度（使用頻度の高い場合は年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。
お買い上げの販売店かパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンに
エラーコードが表示されていないか
確認します。
給湯栓を閉じる前に表示された
エラーコードを書きとめてください。
（リモコンを使用していない場合は、
20～21ページをご参照ください。）



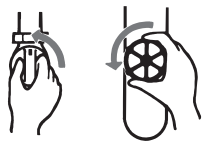
エラーコードが表示されたら

1，下記の操作を行ってください。

①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。

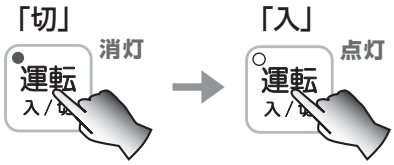


②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。



全開にする

③リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。
1分ほど待ってから再び運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



④給湯栓を再び開けてください。



2，それでもなおエラーコードが表示される場合、
- ●下記の一覧以外のエラーコードが表示される場合は、3へ
- ●下記の一覧のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にする。
  下記の一覧の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は、3へ

3，給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原　　因	処　　置
11	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している	お近くのガス事業者へご連絡ください。
11	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にしてください。
12	LPガスがなくなりかけている（LPガス使用の場合）	ボンベの交換をお近くのガス事業者に依頼してください。
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やしてください。
16	水抜き後の再使用時の順番が違っている	24ページ「水抜き後の使いかた」を参照してください。
88	一般的な使用で10年相当使用されたため、点検推奨時期をお知らせしています。	使用はできますが、安全のため、点検（有料）に関するご案内をさせていただきます。下記までご連絡ください。 ☎ 0120-193-860
10 **燃焼開始時に「ピッ・ピッ・ピッ」とブザーが鳴ります。**	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除いてください。
99	修理が必要ですのでお買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。	

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときやご不明な点は、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

『お湯』について

現　象	原　因　と　処　置
給湯栓を開けても お湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。） ●凍結している（24ページ） ●運転スイッチが「入」になっていない ●機器から給湯栓までの距離が長いと給湯管内の冷水を追い出すのに時間がかかり、お湯が出るまでに時間がかかることがあります。 ●停電している（8ページ） ●電源プラグが抜けている ●断水している ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている（18ページ）
途中で水になる 使用中に消火した	●ガス栓が全開になっていない（9ページ） ●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●停電している（8ページ） ●電源プラグが抜けている ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。）
低温のお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない（9ページ） ●湯温調節が適切でない（12ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。（11ページ） ●少量のお湯を使用しようとすると、湯温が高くなります。 （給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。） ●夏期など水温の高い場合に、低温のお湯を使用しようとすると湯温が設定温度より高くなります。（11ページ）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（12ページ） ●ガス栓が十分開いていない（9ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。（11ページ） ●冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとすると設定温度のお湯がでないことがあります。 （給湯栓をしぼり湯量を少なくすれば、湯温は安定します。） ●混合水栓をご使用の場合は、水が回り込み、お湯がぬるくなる場合があります。
給湯温度の設定ができない	●操作しているリモコンが優先になっていない（13ページ）
給湯栓から出る湯量が 変化する	●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量・湯温が不安定になることがあります。（11ページ） ●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。 ●給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。

故障かな？と思ったら

『お湯』について

現　象	原　因　と　処　置
設定した湯量にならない	●浴槽にお湯が残った状態でお湯はりを開始したり、お湯はりを一時中断したあと再度お湯はりした場合は浴槽に残っているお湯（水）の量だけ、設定湯量より多くなります。 ●設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。 ●混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定湯量よりも多くなります。

『リモコン』について

現　象	原　因　と　処　置
リモコンのスイッチが点灯しない	●停電している（8ページ） ●電源プラグが抜けている

その他

現　象	原　因　と　処　置
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
水抜き栓（安全弁付き）からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。なお、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。 ●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがありますが故障ではありません。

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

＊暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃
程度まで機器内の凍結を予防できます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。



凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

おねがい

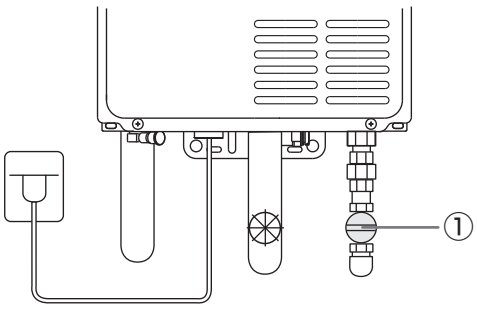
- ●機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- ●凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、**気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。**
- ●停電時は凍結予防ヒータが働きませんので、「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

リモコンがある場合は、リモコンを「切」にしておいてください。

①ガス栓を閉めます。
②給湯栓を少し開けておきます。
流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を
確認してください。

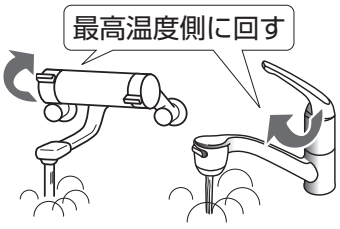




おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

●サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、温度設定をもっとも高温にして開けてください。

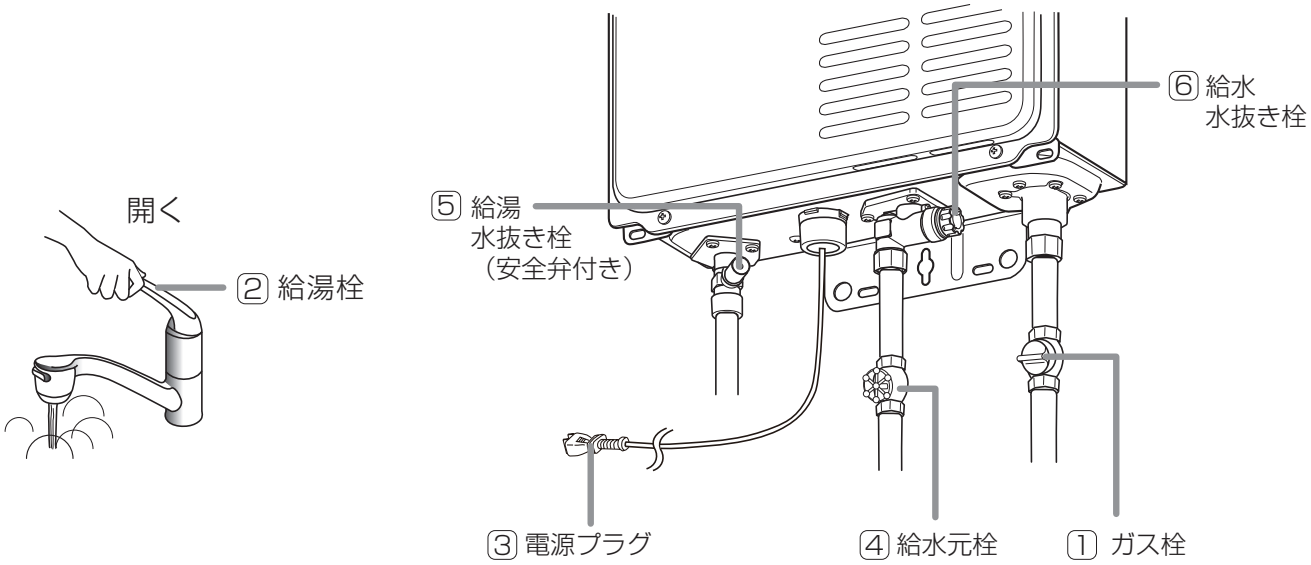


●再使用時の温度設定にはご注意ください。

凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

リモコンがない場合	リモコンがある場合
① ガス栓 ① を閉めます。 ② いずれかの給湯栓 ② を全開にします。 ③ ②の操作より約30秒以上経過したら、給湯栓を開いたままで電源プラグ ③ を抜きます。	① ガス栓 ① を閉めます。 ② リモコンを「切」にします。 ③ 電源プラグ ③ を抜きます。
④ 給水元栓 ④ を閉めます。 （寒冷地域などで不凍栓使用時は、給水元栓を全開にします。） ⑤ 全ての給湯栓 ② を開けます。 ⑥ 給湯水抜き栓 ⑤ をはずします。 給水水抜き栓 ⑥ をはずします。 ※⑤～⑥は順不同 再使用するまでこのままにしておきます。	



⚠警告

ぬれた手で電源プラグを触らない。
すでに雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。


濡れ手禁止

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

※手順通り行わないと、器具が凍結し、破損事故の原因になります。

水抜き後の使いかた

①電源プラグ ③ をコンセントに差し込みます。

②給湯水抜き栓 ⑤・給水水抜き栓 ⑥ を閉めます。

③すべての給湯栓 ② を閉めます。

④給水元栓 ④（または不凍栓）を開け、水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認します。

※水抜き後、最初にご使用するときに空気を含んだ水（お湯）が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

※水が出ない場合は、凍結していることが考えられますので下記の操作を繰り返してください。

給湯栓 ② を閉め、電源プラグ ③ を差し込んだまま、約30分後にもう一度給湯栓 ② を開けます。

⑤ 9ページの「使用前の準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
●凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　名		PH-103EW・PH-163EW・PH-163EWL PH-203EW・PH-203EW(D)・PH-203EWL
型式名		別表「型式名」欄参照
接続	給水・給湯	R1/2（15A）
	ガス	R1/2（15A）
電源	消費電力	別表「消費電力」欄参照
	待機時消費電力	1.2W
	使用電源	AC100V（50Hz/60Hz）
	電源コード長さ	1.5m
	凍結予防ヒータ	68W
種　類		給湯方式：先止め式　　給排気方式：屋外用
設置方式		屋外壁掛式（PS設置可能）
本体(器体)寸法		高さ520×幅350×奥行135mm
質量(本体)		14kg（満水時の質量15kg）
点火方式		放電点火式
給湯温度制御		比例制御
最低作動水量		2.5L/分
水　圧		使用水圧：80～1000kPa (0.8～10.0kg/cm^2) 最低作動水圧：10kPa (0.1kg/cm^2)
安全装置		フレームロッド式立消え安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・ 過圧防止安全装置・凍結予防装置（電気ヒータ）

＊最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

沖縄専用品（器具名に(2)(12)(22)(32)(3)(13)(23)(33)が付く器種、例：PH-163EW(2)-A）は下記の仕様が異なります。

●給湯温度の最高温度は55℃となっております。
●凍結予防装置は組み込まれておりません。
（22ページの「凍結を防ぐには」の凍結予防ヒータによる自動保温の項は該当いたしません。）

使用ガス（ガスグループ）		器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）L/分 25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
都市ガス用	12A	PH-103EW-A	Q-9-1	19.7	(9.3)	5.8	4.2	27W	R1/2 (15A)
	13A	PH-103EW-A	Q-9-1	21.1	(10.0)	6.3	4.6	27W	
LPガス用		PH-103EW-A	Q-9-1	21.1	(10.0)	6.3	4.6	28W	

＊出湯量の（　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

使用ガス（ガスグループ）		器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大） L/分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	PH-163EW-A	Q-13-1	31.5	(14.9)	9.3	6.7	39W	R1/2 (15A)
		PH-163EW(2)-A	Q-13-1	31.5	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW(3)-A	Q-13-1	31.5	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3(30)-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3(2)-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3(32)-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3(3)-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3(33)-A	Q-13-2	32.6	(14.9)	9.3	6.7	37W	
		PH-163EW3-2(10)-A	Q-13-3(10)	31.5	(14.9)	9.3	6.7	46W	
		PH-163EW4(10)-A	Q-13-4(10)	31.5	(14.9)	9.3	6.7	48W	
		PH-163EW4(12)-A	Q-13-4(12)	31.5	(14.9)	9.3	6.7	48W	
		PH-163EW4(13)-A	Q-13-4(12)	31.5	(14.9)	9.3	6.7	48W	
	13A	PH-163EW-A	Q-13-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	39W	
		PH-163EW(2)-A	Q-13-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW(3)-A	Q-13-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3(30)-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3(2)-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3(32)-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3(3)-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3(33)-A	Q-13-2	34.9	(16.0)	10.0	7.2	37W	
		PH-163EW3-2(10)-A	Q-13-3(10)	33.8	(16.0)	10.0	7.2	46W	
		PH-163EW4(10)-A	Q-13-4(10)	33.8	(16.0)	10.0	7.2	48W	
		PH-163EW4(12)-A	Q-13-4(12)	33.8	(16.0)	10.0	7.2	48W	
		PH-163EW4(13)-A	Q-13-4(12)	33.8	(16.0)	10.0	7.2	48W	
LPガス用		PH-163EW-A	Q-14-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	41W	R1/2 (15A)
		PH-163EW(2)-A	Q-14-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	41W	
		PH-163EW(3)-A	Q-14-1	33.8	(16.0)	10.0	7.2	41W	
		PH-163EW3(20)-A	Q-14-6	33.8	(16.0)	10.0	7.2	38W	
		PH-163EW3(22)-A	Q-14-6	33.8	(16.0)	10.0	7.2	38W	
		PH-163EW3(23)-A	Q-14-6	33.8	(16.0)	10.0	7.2	38W	
		PH-163EW3-2(20)-A	Q-14-7	33.8	(16.0)	10.0	7.2	47W	
		PH-163EW4(20)-A	Q-14-8	33.8	(16.0)	10.0	7.2	47W	
		PH-163EW4(22)-A	Q-14-8	33.8	(16.0)	10.0	7.2	47W	
		PH-163EW4(23)-A	Q-14-8	33.8	(16.0)	10.0	7.2	47W	

＊出湯量の（　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

仕　様

使用ガス（ガスグループ）		器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）L/分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	PH-203EW-A	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	R1/2 (15A)
		PH-203EW(D)-A	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW(2)-A	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW(3)-A	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW-D	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW-N	Q-15-1	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW3-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(30)-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(2)-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(32)-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(3)-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(33)-A	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3-D	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(30)-D	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3-N	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3(30)-N	Q-15-2	40.7	(18.6)	11.6	8.5	44W	
		PH-203EW3-2(10)-A	Q-15-3(10)	39.4	(18.6)	11.6	8.5	57W	
		PH-203EW4(10)-A	Q-15-4(10)	39.4	(18.6)	11.6	8.5	55W	
		PH-203EW4(10)-D	Q-15-4(10)	39.4	(18.6)	11.6	8.5	55W	
		PH-203EW4(12)-A	Q-15-4(12)	39.4	(18.6)	11.6	8.5	55W	
		PH-203EW4(13)-A	Q-15-4(12)	39.4	(18.6)	11.6	8.5	55W	
		PH-203EW5-A	Q-15-5	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
		PH-203EW5-D	Q-15-5	39.4	(18.6)	11.6	8.5	46W	
	13A	PH-203EW-A	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW(D)-A	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW(2)-A	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW(3)-A	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW-D	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW-N	Q-15-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW3-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(30)-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(2)-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(32)-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(3)-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(33)-A	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3-D	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(30)-D	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3-N	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3(30)-N	Q-15-2	43.6	(20.0)	12.5	9.1	44W	
		PH-203EW3-2(10)-A	Q-15-3(10)	42.2	(20.0)	12.5	9.1	57W	
		PH-203EW4(10)-A	Q-15-4(10)	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
		PH-203EW4(10)-D	Q-15-4(10)	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
		PH-203EW4(12)-A	Q-15-4(12)	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
		PH-203EW4(13)-A	Q-15-4(12)	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
		PH-203EW5-A	Q-15-5	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	
		PH-203EW5-D	Q-15-5	42.2	(20.0)	12.5	9.1	46W	

＊出湯量の（　　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

使用ガス（ガスグループ）	器具名	型式名	ガス消費量 kW	出湯量（最大） L/分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
				25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
LPガス用	PH-203EW-A	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	R1/2 (15A)
	PH-203EW(D)-A	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW(2)-A	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW(3)-A	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW-D	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW-N	Q-16-1	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW3(20)-A	Q-16-6	42.2	(20.0)	12.5	9.1	45W	
	PH-203EW3(22)-A	Q-16-6	42.2	(20.0)	12.5	9.1	45W	
	PH-203EW3(23)-A	Q-16-6	42.2	(20.0)	12.5	9.1	45W	
	PH-203EW3(20)-D	Q-16-6	42.2	(20.0)	12.5	9.1	45W	
	PH-203EW3(20)-N	Q-16-6	42.2	(20.0)	12.5	9.1	45W	
	PH-203EW3-2(20)-A	Q-16-7	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
	PH-203EW4(20)-A	Q-16-8	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
	PH-203EW4(22)-A	Q-16-8	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
	PH-203EW4(23)-A	Q-16-8	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
	PH-203EW4(20)-D	Q-16-8	42.2	(20.0)	12.5	9.1	55W	
	PH-203EW5-A	Q-16-5	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	
	PH-203EW5-D	Q-16-5	42.2	(20.0)	12.5	9.1	48W	

＊出湯量の（　　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」23ページ参照)

アフターサービスについて

点検･修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- **ご住所･ご氏名･電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく)**
- **品名・器具名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日･ガス種**
- **道順**

※作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けられた場合、アフターサービスに応じかねることもありますのでご了承ください。

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
東　京サービスセンター	〒135-0023 東京都江東区平野2丁目2-4パロマ深川ビル	03-5646-1080	03-5646-1086
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5050	052-824-5385
大　阪サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0015 福岡市博多区山王１丁目２-３２	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

リモコンの表示画面にエラーコード「88」が表示される場合は、パロマサービスコールセンターまでご連絡ください。

リモコンの表示画面に「88」が点灯したら	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間点検受付

補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は本製品製造打ち切り後7年間（BL認定部品は10年間）保有しております。

BL認定部品について

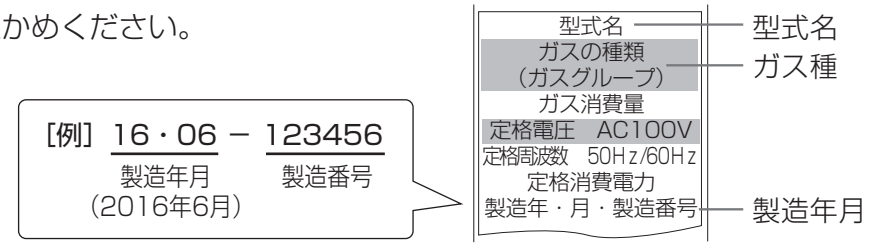
優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。



保 証 書

パロマ　ガス瞬間給湯器
PH-103EW・PH-163EW・PH-203EW・PH-203EW(D)・PH-163EWL・PH-203EWL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、工事説明書、本体表示等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
   なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
（チ）建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
（リ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
（ヌ）給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
（ル）温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日から1年間
BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

41188150000
29. 3. ◎ H 41 18815